PETER DAVID BETER・音声書簡 第47号

1979年6月28日

テーマ1 ロシアのロボット工学の科学的背景は

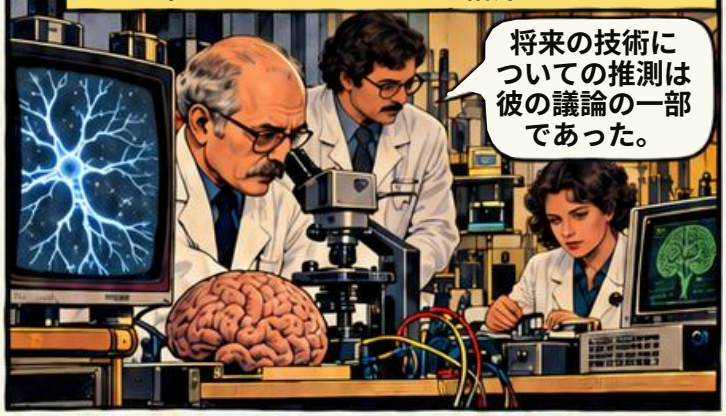
1 Beter氏は1973年の著書に不信感を抱いたことを思い出し、ロボトイドと反応を比較しました。



2 彼はアルヴィン・トフラーの『Future Shock』を参考に、急速な科学的変化について論じた。



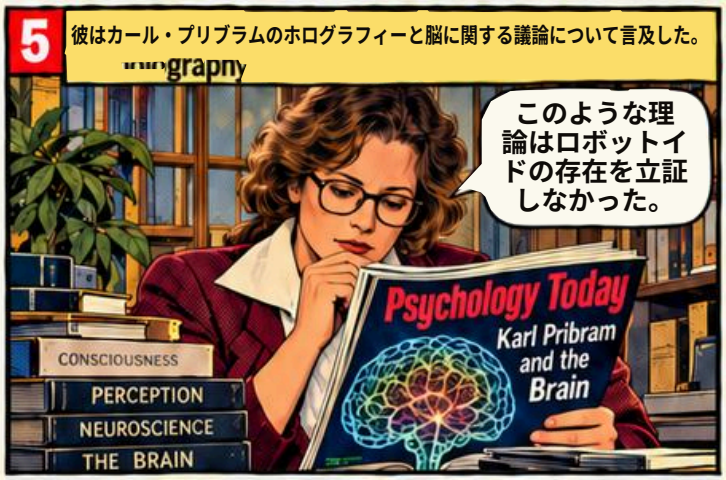
3 彼は、初期の出版物から生物学コンピュータと人工生命についてのアイデアを紹介した。



4 彼はホログラフィーを3次元画像として説明し、記憶と比較した。



5 彼はカール・プリブラムのホログラフィーと脳に関する議論について言及した。



6 彼はソビエトの研究センター間の協力と失敗の共有を称賛した。



7 超音波脳波は、ロボットで人の記憶を再現できると、彼は主張しました。



8 同氏は、コピーした宇宙飛行士がすでに原作の訓練を受けられると述べました。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第47号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第47号

1979年6月28日

テーマ2 ボリシェヴィキの権力を解体するロシア戦略

1 ベターは、人間の二重をロシアが引き継いだと説明した。



2 大統領が主張したのは、ホワイトハウスと内閣のほぼ全員がロボットで制御されているということです。



3 彼はこの代案を最高裁判所の全ての判事に拡大した。



4 彼はウィーン・ソルティルサミットでカーターの行動をモスクワへの服従と解釈した。



5 彼は、幾人かの代議員が疑いを避けるためにソルチルでo77*7を続けたと主張した。



6 彼は、SALT II条約の変更に対するグロミコの警告を強調した。



7 彼はサウジの油田への攻撃を防止したと疑われているロボロイドシャトルを信用した。



8 彼はロボロイド戦略と以前に主張していた破壊的な宇宙兵器を対比した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第47号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第47号

1979年6月28日

テーマ3 戦争と平和の潮流が

1 Beter氏はこの期間について、懸念のあるリスナーにとって重要で、混乱し、孤独だと述べた。



2 彼はハリー・シュルツが世論を先取りする難しさについて言及した。



3 古い政治・経済計画は一夜にして終わらないと述べました。



4 彼はガイアナとスリーマイル島を、意図的な閉鎖計画の疑いと結びつけた。



5 また、シカゴでアメリカン航空191便の妨害を訴えた。



6 サリーは、SALT IIについてロシアの影響が拡大していることを示すものとして位置付けていた。



7 彼は平凡なキリスト教徒から平和のための巡礼への強い関心を報告した。



8 ソ連の公式な反応をまだ待っており、提案された旅は不確実のままだと述べた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第47号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。